

ビロウドテンツキ

Fimbristylis sericea
(Poir.) R. Br.

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 本県では、主として海岸砂地に生育している。海岸の埋立てや砂浜の攪乱によって、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 姫島・国東海岸，別府湾沿岸域

分布域 本州(北陸地方，関東地方以西)，九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
台湾，中国，インド，マレーシア，オーストラリア

生育環境 海岸の砂地。

現 状 海岸の埋立てや海水浴場・キャンプ地などにより，生育地が消滅したり，攪乱されて衰退した所がある。

ミカツキグサ

Rhynchospora alba
(L.) Vahl

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 隔離分布し，本県では，泥炭湿原の過湿地に生育している。湿原内の生育地は水の供給が悪くなって乾燥化し，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道，本州，九州(福岡・大分・宮崎)
欧亜，北米(北東部)

生育環境 低山地の湿地。

現 状 湿原内の水溝に沿って群生しているが，もともと湿原の凹地(シュレンケ)に生える植物で，その生育地は，湿原の上辺からの水の供給が中断され，乾燥化して生育状態が悪化している。

備 考 北方寒冷地要素の植物。九州は，分布の南限地にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう，瀬戸内海]

オオイヌノハナヒゲ

Rhynchospora fauriei Franch.

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 隔離分布する。本県の生育地は，泥炭湿原の凹地(シュレンケ)に生えるが，湿原中の人工的な水溝湿地に逸出し，不安定な生育環境にある。生育環境の悪化に伴って絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道，本州，九州(大分)

生育環境 低山地の泥炭湿原。

現 状 もともと泥炭湿原の凹地に生えるが，その生育地は乾燥化し，生育状態が悪化している。

備 考 本県は，分布の南限域にあたる。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]